名古屋市博物館は、昭和52年に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・収集し、公開しています。

フロア案内

1階

特別展示室・部門展示室では、尾張地方の歴史・文化の特色を明らかにする企画展や、内外のすぐれた文化遺産を紹介する特別展を開催します。

ミュージアムショップでは、オリジナルグッズ、歴史書などを販売しています。

2階

　常設展「尾張の歴史」を開催しています。原始から続くこの地方の歴史を16のテーマに分けて紹介しています。

常設展示室内の「フリールーム」では、小規模な企画展示を開催しています。

テーマ10「近世尾張の文化」、テーマ16「まつり」は、定期的に展示替えを行います。そのほかのテーマも、随時展示替えを行っています。

ボランティアによる解説を行っています。詳しくはお問い合わせください。

3階

　ギャラリーでは、市民の作品発表の場として多くの展覧会が開催されます。

博物館サポーター募集

特典　企画展・常設展の入場料が無料です。特別展は当日料金の半額で観覧できます。また、広報モニター会、館外見学会に参加できます。博物館事業情報の案内を送付します。

年会費　正サポーター3000円、家族サポーター2000円。

詳しくはお問い合わせください。

令和4年4月から令和5年3月までの、名古屋市博物館の事業案内

名古屋市博物館では、新型コロナウイルス感染拡大を防止するための対策を講じています。

来館時には、博物館ウェブサイトの「博物館からのご連絡」のページをご一読のうえ、マスク着用などのご協力を賜りますようお願いいたします。

　また、本年度の事業計画は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、今後変更される場合があります。

　なお、令和4年12月19日（月曜日）から令和5年1月3日（火曜日）までは、館内点検及び年末年始のため休館します。

1階　特別展示室　特別展・企画展のスケジュール

特別展「DC展　スーパーヒーローの誕生」

令和4年3月8日（火曜日）から5月8日（日曜日）

　世界的に人気を博すバットマンやスーパーマン、そして近年大人気となったジョーカーなどを生み出したアメコミ出版社DC。貴重な出版当時のコミックや設定資料、映画の衣装や小道具などから、時代とともに形を変え、オリジナルのキャラクターと物語を作り続けるDCの、80年以上の歴史とその魅力に迫ります。

特別展「もしも猫展」

令和4年7月2日（土曜日）から8月21日（日曜日）

　猫が人だったら、人が猫だったら。

　「もしも、うちの猫が人間のように話したら？」そんな想像をしたことはありませんか。人間以外の何かを人間になぞらえることを擬人化と呼びます。猫を擬人化して描いた浮世絵をとおして、江戸時代の擬人化表現の面白さと、浮世絵師歌川くによしの魅力に迫ります。

特別展　日中国交正常化50周年記念「兵馬ようと古代中国　しんかん文明の遺産」

令和4年9月10日（土曜日）から11月6日（日曜日）

　死後の皇帝を守り続けた兵馬ようは、戦国時代の極小の騎馬ようから、始皇帝りょうでは等身大となり、かんだい皇帝りょうでは再び小さく変化しました。本展では、兵馬ようのダイナミックな展示と、しんかん両帝国の中心地域であるかんちゅう（現在のせんせい省）出土の一級ぶんぶつを含めた約200点から、古代中国の歴史や西方文化との関係を紹介します。

企画展「戦前を生きる　収蔵品が伝えるこころ」

令和5年1月21日（土曜日）から3月5日（日曜日）

　さきの大戦が終わることで、今の私たちにつながる戦後が始まりました。だからこそ暗いイメージを持たれる戦前ですが、憲法やモラルといった国の根本こそ違えども、人々は「当時の当たり前の日常」の中で今の私たち同様、毎日を精一杯生きていました。約半世紀にわたる名古屋市博物館の戦前資料の収集品を見つめ、物の向こう側に確かに存在した人々のこころに近づきたいと思います。

2階　常設展示室「尾張の歴史」

フリールームの展示

フリールームは、常設展示室の中の展示替えコーナーです。長期間展示できない資料や新収蔵資料などを中心に、小規模な企画展示を随時開催しています。

令和4年3月23日（水曜日）から4月24日（日曜日）

館蔵映画資料展

　映画館のビラやパンフレット、ブロマイドなど映画に関係した収蔵資料を展示します。

令和4年4月27日（水曜日）から6月26日（日曜日）

名古屋職人図鑑

　桶屋、大工、三味線屋など、近年受贈したさまざまな職種の道具類を紹介。名古屋で営んだ職人の世界を見ていきます。

令和4年6月29日（水曜日）から8月21日（日曜日）

古墳時代の形いろいろ

　古墳時代には、様々な形の焼き物、埴輪、色とりどりの石製品、鈴のついた鏡など、今見ると不思議な形のものがあります。こうした古墳時代の多彩な形をお楽しみください。

令和4年8月24日（水曜日）から10月23日（日曜日）

伊勢湾台風63年

　昭和34年（1959年）9月26日に襲来した伊勢湾台風。63年の時を経て、人々の体験を館蔵資料から伝えます。

令和4年10月26日（水曜日）から12月18日（日曜日）

「尾張名古屋うめますの図」と幅下水道

　江戸時代、名古屋城下西部に敷設され、近代まで使われていた幅下水道。その管理の実態を進出資料から紹介します。

令和5年1月4日（水曜日）から3月26日（日曜日）

なごやのうつりかわり

　「交通」「土地利用」「道具」などのテーマについて、明治時代から現在までの間にくらしを変えたできごとを紹介し、名古屋市や人々の生活がうつりかわる様子をたどります。

テーマ１０「近世尾張の文化」の展示

　名古屋城下の文化的な繁栄ぶりをしめす絵画や工芸品などを、定期的に展示替えしています。

令和4年3月23日（水曜日）から4月24日（日曜日）

よろいとかぶと

　太平の世となった江戸時代でも、祖先の武勇を伝え、いざというときの雄姿を演出するため、美麗な甲冑が必要でした。様々な形のよろいとかぶとを紹介します。

令和4年4月27日（水曜日）から6月26日（日曜日）

黒らくぢゃわん

　京都らくけ歴代の作品と、そのとうほうを受け継いだ窯や、そこで焼かれた茶人の手造りによる茶碗をらくぢゃわんと呼びます。今回は美しい黒色を呈した黒らくぢゃわんを特集します。作者の個性あふれる茶碗を見比べながらお楽しみください。

令和4年6月29日（水曜日）から8月21日（日曜日）

しゅんこう院の襖絵

　緑区大高町にあるしゅんこう院の所蔵品から、江戸時代の襖絵を紹介。前期６月２９日から７月２４日までは、かのうえいしゅう「ろがん図襖絵」よめんを、後期７月２７日から８月２１日までは、きだかどう「なみちどり図襖絵」よめんを展示します。

令和4年8月24日（水曜日）から10月23日（日曜日）

博物館と地域連携

　博物館では、所蔵資料を活用して、商店街などの地域と様々な連携事業に取り組んでいます。６０年に一度のおくわ祭りの復活や、「ええじゃないか」150年を記念したイベントなど、展示以外の事業を紹介します。

令和4年10月26日（水曜日）から12月18日（日曜日）

きよのいっこうの屏風

　江戸時代前期、尾張藩の御用絵師をつとめたきよのいっこうを紹介。前期10月26日から11月20日までは「とう人物図押絵貼り屏風」を、後期11月23日から12月18日までは「花鳥図押絵貼り屏風」を展示します。

令和5年1月4日（水曜日）から2月26日（日曜日）

版木からみる

　使用された版木をとおして、「制作」という観点から尾張の地誌「尾張名所ずえ」、詩歌集「めいくしょうけい」などの資料を見ていきます。

令和5年3月1日（水曜日）から

没後200年　田中とつげん

　やまと絵に学び、独自の作風を切り開いた名古屋出身の画家、田中とつげんの作品を紹介します。

テーマ16「まつり」の展示

　名古屋近郊に伝わるからくり人形や祭礼道具などを、定期的な展示替えにより紹介します。

令和4年3月23日（水曜日）から4月24日（日曜日）

橋弁慶図屏風

　近代名古屋を代表する趣味人で、大のお祭り好きとしても知られる伊勢もんすい。彼が能「橋弁慶」を題材に描いた作品を紹介します。

令和4年4月27日（水曜日）から6月26日（日曜日）

かしかじんしゃ　山車模型

　東区新出来の山車「かしかじんしゃ」は、例年6月第1土日の出来まち天王祭に曳き出されます。その祭りに携わっていた方が製作した、山車模型を紹介します。

令和4年6月29日（水曜日）から8月21日（日曜日）

虫送り

　「虫送り」とは「ウンカ送り」ともいい、田植え後に生長した稲につく害虫の退散を願って初夏におこなわれる行事です。虫送りに使われた道具の中から「サネモリ」と呼ばれる、わらで作られた人形などを紹介します。

令和4年8月24日（水曜日）から10月23日（日曜日）

戸田白山社　だしのからくり人形

　中川区戸田では10月第1土日に、戸田まつりが行われ、5りょうの山車が飾られます。まつりに登場する山車のひとつ、白山社の山車のからくり人形を紹介します。

令和4年10月26日（水曜日）から12月18日（日曜日）

花まつりの祭具

　奥三河の「花まつり」では、神事や舞に用いるためや祭りの会場を飾るためにたくさんの祭具が準備されます。「切りぐさ」と呼ばれる色紙を細かく切った飾りをはじめ、花まつりに使用された祭具の数々を紹介します。

令和5年1月4日（水曜日）から2月26日（日曜日）

正月の遊び

　すごろくや羽子板など正月の遊び道具、「あぶ」や「せみ」と呼ばれる名古屋の凧も展示します。小学校1年生の生活科の単元に合わせた内容です。

令和5年3月1日（水曜日）から

屋根神

　軒先や屋根にまつられている屋根神様。近年受贈した屋根が実の祠と、市内各所で撮影された屋根神の風景を紹介します。

イベント、セミナー

参加費無料の歴史体験セミナー

　参加にあたり特別な配慮が必要な方は、ご来館の2週間前までに博物館にお知らせください。

むかしのおもちゃで遊ぼう

令和4年7月12日（火曜日）から8月28日（日曜日）

時間は午前9時30分から午後4時30分

会場は2階常設展ロビー

正月のおもちゃ

令和4年12月6日（火曜日）から令和5年1月9日（月曜日、祝日）

時間は午前9時30分から午後4時30分

会場は2階常設展ロビー

事前申し込みと参加費が必要な歴史体験セミナー

　申し込みは名古屋市電子申請サービスで受け付けます。電子申請サービスの利用が難しい方は、博物館にお問い合わせください。

参加費はひとり400円、受付は先着順で、定員に達し次第受付終了。キャンセル待ちの受付はありません。

参加にあたり特別な配慮が必要な方は、申し込みの時に博物館にお知らせください。

自分だけのまが玉づくり

令和4年8月20日（土曜日）、21日（日曜日）

どちらの日も午前10時から11時30分、午後2時から3時30分の２回。

定員は各回３０人

募集期間は７月２６日（火曜日）から８月１９日（金曜日）

小学３年生以下は保護者の同伴が必要です。

ミニ屏風をつくろう

令和4年11月5日（土曜日）

午前10時から11時30分、午後2時から3時30分の２回。

定員は各回３０人

募集期間は10月1２日（水曜日）から11月4日（金曜日）

小学生以下は保護者の同伴が必要です。

はくぶつかん講座

当館学芸員が講師をつとめる講座です。聴講無料ですが事前申し込みが必要です。申し込みは名古屋市電子申請サービスで受け付けます。受付は先着順で、定員70名に達し次第受付終了。キャンセル待ちの受付はありません。

　募集期間は講座ごとに異なります。

電子申請サービスの利用が難しい方は、博物館にお問い合わせください。

参加にあたり特別な配慮が必要な方は、申し込みの時に博物館にお知らせください。

どの講座も午前9時30分受付開始、10時開講です。

第1回「博物館資料の収集と保存」

令和4年4月23日（土曜日）

募集期間は令和4年3月29日（火曜日）から4月22日（金曜日）

第2回「出征兵士からの手紙」

令和4年5月21日（土曜日）

募集期間は令和4年4月27日（水曜日）から5月20日（金曜日）

第3回「松平くんざんのじゅんが日課とかはんず」

令和4年6月4日（土曜日）

募集期間は令和4年5月11日（水曜日）から6月3日（金曜日）

第4回「古墳時代の造形」

令和4年7月9日（土曜日）

募集期間は令和4年6月15日（水曜日）から7月8日（金曜日）

第5回「尾張七宝の美」

令和4年7月23日（土曜日）

募集期間は令和4年6月29日（水曜日）から7月22日（金曜日）

第6回「博物館と地域連携」

令和4年9月17日（土曜日）

募集期間は令和4年8月24日（水曜日）から9月16日（金曜日）

第7回「奥三河の民俗文化」

令和4年10月29日（土曜日）

募集期間は令和4年10月5日（水曜日）から10月28日（金曜日）

第8回「新出資料から見えてくる幅下水道のすがた」

令和4年11月19日（土曜日）

募集期間は令和4年10月26日（水曜日）から11月18日（金曜日）

第9回「名所絵のつくりかた」

令和5年2月18日（土曜日）

募集期間は令和5年1月25日（水曜日）から2月17日（金曜日）

第10回「名古屋の石造物探訪」

令和5年3月18日（土曜日）

募集期間は令和5年2月22日（水曜日）から3月17日（金曜日）

そのほかのイベント

はくぶつかんクイズラリー

令和4年7月27日（水曜日）から8月28日（日曜日）

常設展でクイズラリーを開催します。常設展観覧料が必要です。

はくぶつかん古書市

令和4年9月10日（土曜日）から19日（月曜日・祝日）

郷土書、歴史書中心のフェアです。入場無料ですが古書は有料です。

考古学セミナー

令和4年10月22日（土曜日）、23日（日曜日）

愛知県及び近隣の考古学の活動発表会です。愛知県埋蔵文化財センターとの共催。入場無料です。

利用案内

郵便番号4 6 7 0 8 0 6

名古屋市瑞穂区瑞穂通一丁目27の1

電話　0 5 2 8 5 3 2 6 5 5

ファクシミリ　0 5 2 8 5 3 3 6 3 6

開館時間　午前9時30分から午後5時まで。ただし入場は4時30分まで

休館日　毎週月曜日。ただし祝日の場合は、直後の平日。第4火曜日。ただし祝日を除く。館内点検休館、年末年始休館。

観覧料　常設展は、一般300円、高校生・大学生は200円、中学生以下無料。30名以上の団体料金は、一般250円、高校生・大学生は150円。ただし、中学生、高校生、大学生は学生証の提示が必要。市内在住の65歳以上の方は100円。ただし、敬老手帳の提示が必要。特別展・企画展はその都度定めます。

交通　地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口を南へ150メートル。市バスの場合は、金山バスターミナルから「金山14系統　桜山経由」で「博物館」下車。

駐車場は74台収容、普通車は1回300円、大型バスは1回1200円。

令和4年4月から令和5年3月までの、名古屋市蓬左文庫の事業案内

　蓬左文庫は特別整理・年末年始休館のため、令和4年12月16日（金曜日）から令和5年1月3日（火曜日）まで休館します。

春季特別展「広重の旅風景　雨、雪そして人」

令和4年4月10日（日曜日）から5月22日（日曜日）

　風景画の名手 歌川広重の代表作である保永堂版「東海道五拾三次之内」全55図に、各種東海道絵や各地の名所絵を加えて紹介します。卓越した脚色の技が活かされた広重の風景画をお楽しみください。

企画展「大名の冠・婚・葬・祭」

令和4年5月28日（土曜日）から7月18日（月曜日）

　誕生や成長、成人、結婚、長寿を祝う行事や葬儀など、大名家の人々が人生の節目におこなった冠婚葬祭について、尾張徳川家の伝来品を中心に紹介します。

企画展「祭りの世界　仮装と風流」

令和4年7月24日（日曜日）から9月11日（日曜日）

　祭りは宗教的行事でもあり、人々が心躍らせる娯楽でもありました。江戸時代の祭礼図を中心に、見た目にも美しく楽しげな仮装や出し物に着目し、その豊潤な世界を紹介します。

秋季特別展「名物　由緒正しき宝物」

令和4年9月17日（土曜日）から11月6日（日曜日）

　茶の湯道具や刀剣などのうち、名の知られた由緒ある優品は「名物」と呼ばれ貴ばれました。尾張徳川家の所蔵品を中心として、名物の展開をたどりながら、名だたる名物の数々をご覧いただきます。

企画展「鷹狩」

令和4年11月12日（土曜日）から12月15日（木曜日）

　飼い馴らした鷹を使って獲物を捕らえる鷹狩は、日本では古代から行われていました。鷹狩道具をはじめ、狩りに関わる人々や場にも焦点を当て、鷹狩の世界を紐解きます。

企画展「徳川文房博」

令和5年1月4日（日曜日）から1月29日（日曜日）

　尾張徳川家に伝来した文房具を一堂に会し、文房（書斎）で用いられたさまざまな道具と、大名文化における文房具の役割について紹介します。

企画展「読み解き　近世の書状」

令和5年2月4日（土曜日）から4月2日（日曜日）

　信長・秀吉・家康をはじめとする近世の人々の書状を展示し、書状からうかがえるエピソードや書き手の人柄などを紹介します。

利用案内

郵便番号 4 6 1 0 0 2 3

名古屋市東区徳川町1001

電話　0 5 2 9 3 5 2 1 7 3

ファクシミリ　0 5 2 9 3 5 2 1 7 4

開館時間　午前10時から午後5時まで。ただし入室は4時30分まで

休館日　毎週月曜日。ただし祝日の場合は、直後の平日。特別整理・年末年始休館。

観覧料　徳川美術館と共通で、一般1400円、高校生・大学生は700円、小学生・中学生は500円。

交通　名古屋駅から、市バス基幹バス2号系統・名鉄バス「栄経由」で「徳川園新出来」下車、徒歩3分。名古屋観光ルートバス　メーグルで「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車すぐ。大曽根から、JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分。

令和4年4月から令和5年3月までの、名古屋市秀吉清正記念館の事業案内

　秀吉清正記念館は館内点検のため、令和4年11月24日（木曜日）から12月9日（金曜日）まで休館します。

秀吉清正記念館30周年パネル展「中村公園いまむかし」

令和4年3月5日（土曜日）から5月29日（日曜日）

　記念館が位置する中村公園は、明治36年、豊臣秀吉の生誕地を記念する公園として開園しました。現代まで約120年間の景観の変遷を紹介します。

パネル展「名古屋の城」

令和4年6月11日（土曜日）から7月3日（日曜日）

　名古屋市内の城郭遺跡の中から、遺構が残るところ、歴史上重要なところ、公園として整備されたところを中心に紹介します。

夏休み特集展示「豊臣秀吉　人気の秘密をさぐる」

令和4年7月16日（土曜日）から9月19日（月曜日・祝日）

　夏休み期間の小中学生向け企画です。秀吉はどのようにして強い武将として力を発揮したのか、なぜヒーローとして人気を集めるのかを紹介します。自由研究にご活用ください。

特別陳列「加藤清正　神仏への祈り」

令和4年10月8日（土曜日）から11月23日（水曜日・祝日）

　加藤清正は日蓮宗の熱心な信者であり、多くの寺院の建立や修理を行いました。清正と日蓮宗進行・寺院との関わりや、江戸時代に隆盛した清正公信仰の諸相を紹介します。

特集展示「秀吉と清正の面影　描かれた姿をさぐる」

令和4年12月10日（土曜日）から令和5年2月19日（日曜日）

　豊臣秀吉と加藤清正の画像、木像は日本各地に数多く残されています。それらに表現された秀吉と清正の顔のバリエーションや特徴を紹介します。

特集展示「地図を楽しむ」

令和5年3月4日（土曜日）から5月28日（日曜日）

　地図は作成された時の地理感覚、流行、政治的意図などをさぐるための重要な資料となっています。さまざまな地図がつくられた時代背景や、楽しみ方を紹介します。

利用案内

郵便番号4 5 3 0 0 5 3

名古屋市中村区中村町茶ノ木25　中村公園文化プラザ2階

電話　0 5 2 4 1 1 0 0 3 5

ファクシミリ　0 5 2 4 1 1 9 9 8 7

開館時間　午前9時30分から午後5時まで

休館日　毎週月曜日。ただし祝日の場合は、直後の平日。第4火曜日。ただし祝日を除く。館内点検休館、年末年始休館。

観覧料　無料

交通　地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口を北へ徒歩10分。市バスの場合は、名古屋駅から「名駅25系統　中村巡回」で「豊国神社」下車、徒歩2分。